

2025年8月3日 倉敷 アンケート集計

ご参加 52人

アンケート回収 23枚（掲載等の使用に同意 20枚 同意しません 1枚 無回答 2枚）

〈以下の回答は掲載等の使用に同意された方のみの分です〉

映画に関心を持たれたきっかけ

- a 3人 自身、周囲の方に解離性同一性障害の症状がある
- b 10人 解離性同一性障害について関心がある
- c 1人 ドラマとして面白そうだったから
- d 1人 キャスト・スタッフに関心がある
- e 3人 評判を聞いた
- f 9人 その他

- ・お誘いいただいた
- ・田口さん(子育て応援ナビぽっかぽか)の活動を尊敬しているので
- ・1度見て再度見たかったから
- ・HPを見て、今の自分のしんどさに対して理解の手がかりになるかと思って。明確な別人格はいないですけど。フラッシュバックで気分が悪くて感情のコントロールができてない時のことを後で言われてたの、そんな事言っていないと思うことはよくあります。
- ・中島幸子さんの講演と一体のものとして
- ・映画だとわかりやすいかなと思った
- ・中島幸子さんの話を聞きたいと思った

自由記述

【同意します】20枚

・自分の身体を共有している人たちみんながコミュニケーションをとるむずかしさを感じました。本当はみんなが仲良く過ごしていけたらいいけど、私たちが人間関係に困るように、DIDをもつ方もそんなすぐすぐ仲良くできるわけではないと思います。カウンセラーなどの支援者が「統合」にむかうのではなく、尊重し信頼できる人間関係の構築に向けてDIDの方々とかわることができれば、本人を否定することなく、協力し合いだが、できると思いました。ありがとうございました。

・映画、ご講義、すばらしかったです。ひとことでは言えませんが、心に刻みたいと思いました。皆さんの大きなやさしさ、愛の深さ、と、過去のとてもつらい経験、とを思い、このような、私たちに示唆してくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

・DIDについては相談者にそのような悩みを持つ方がいたので知っていたし、対応もしていた。ただただ聞くにたってきて、今、その方とのつながりが20年となる。今までのつきあい方がまああ(?)よかったのかなと...今日のお話を聞きながら安心できた。今の恩師であるカウンセラーは、DIDをみとめないDrであったが(なぜなんだろうといつも思っていた

が)、それはそれでしかたないかなとも...今日のお話から思えました。今日もありがとうございました。

・映画も5回見ました。観るたび発見あります。そしてDIDだから、はなくなっています。トークショー、いいですね。よかったです。

・ふつうのカップルの安全な会話が、自分には急に暴言とか暴力にかわるのではないかと、う不安があって、ふつうの会話のシーンがおちつかず、ドラマとか映画とか見て大丈夫かどうか気にしてしまいます。いろんな人格が出てくるシーンの方が不安なく安心して見ることができました。イラチくんの言うこと、わかる気がします。それぞれの人格がとても自然な感じがしました。

DVで大阪から岡山の実家に去年の11月に帰ってきました。大人になってからのトラウマなので明確な別人格はいないのかなと今日思ったのですが、いるのかも。意識的に感覚をとばそうとしていたのですが、なかなかできなくて中途半端な時に戻ってきて、頭と空間がぐるぐるしてました。

・主人格がいなくなるというのはよくあることなののでしょうか？最後に歩いていた時に、後方の2人も副人格なののでしょうか。

文字と比べて映像で見ると理解が進みました。各人格は他人格のことを理解しているのでしょうか。人格が切り替わるのはどういう時でしょうか。主人格は本当に主人格なののでしょうか。副人格の1つが主人格で、主人格と思っていた人格が副人格ということはないのでしょうか。Team構成員は誰なんのでしょうか。どこまでの状態になれば別人格になるのでしょうか。多かれ少なかれ誰にでもあるような気がするのですが。

・その子さんの中にいる4人が最後にはその子さんを助ける人格になっていったみたいだけど、そうなる事ができるんですね。

トークを聞いて全部ではないけれど、70%くらいは理解できたと思う。周囲に実際こういう人がいたら、私自身うまく付き合えるかな？

・誰にでも多かれ少なかれ色々な人格はあると思う。ただDIDの人はそれが極端なのかなと思った。とても分かりやすい内容だった。レジリエンスのSNSなどでも今後の（京都大学）予定を入れてほしい。

・その子さんが明日香さんとして歩み始めるまでを、かたずを飲んで見守らせていただきました。「Teamその子」となるために、いくつかポイントがあったと思われます。カウンセラーに定期的に相談できていたこと。カウンセラーが一人ひとりの人格と話すことができたこと。それを経て、その子さんに他害に話してみることを促したこと。その子が人格と話し合え、認め合えたことなどです。こうした素晴らしい支援にたくさん学ぶことができました。

・家ぞくがDIDです。カウンセリングのシーンで、初めてしっかりが登場するシーンで、人格交代する時、目を上下左右に動かして部屋をすみずみ見るシーンはリアルでした。私のかぞくの人格交代の時も、同じ目の動きをします。

・解離性同一性障がいについて、主人公の中の人を、実際にたくさんの役者さんが登場して映画にすることで、とても分かりやすかったです。カウンセラーの中島さんと主人公の方のシーンでは、傾聴していたり、主人公の中の人に話を合わせたりなど、映画の中でセリフであったとしても、実際のカウンセリングのようになっていて、とても勉強になりました。ありがとうございました。

・こんな感じなのですね。そういうことだったのですね...。1~3%おられるということ、過去のできごとが根っこにあるということ、トークショーの中での「チームをつくる」、自分の中の存在と折り合いをつけていくということは、他者と折り合いをつけていくことと似てるなあと思って、と書いていたら、幸さんの口からもそんな話が...。

その子を受けとめている、受けとめてもらえることのありがたさや幸せを改めて思う。誰でも...おひとりの中に複数の方が居ても、その誰でも、誰もが、安心して、そこに居られる、そんな場が、そんな人が増えていきますように。誰もが安心できる社会の実現のためのNPOをしています、改めてその意味をカクニンした時間でもありました。

次回作を計画中とのこと、楽しみにしているよ。本当にありがとうございました。

・消化しきれない内容でした。貴重な機会をありがとうございました。

・妹が、おそらく解離性同一性障害だと思うので、以前から関心がありました。妹との関わりで困ったことが多く、どのように対応したらよいか、わからないままに今日に至っています。今日話をきいて、もう少し詳しく学びたいと思いました。また、妹との関わり方のヒントももらえました。ありがとうございました。

・回数を重ねて見ていくと、だんだんと内容が深まっていきました。解離性同一性障害。みんな苦手なところ、足りないところを補いあって生きていくことで、その人にとってすてきな生き方が出来ればいいなと思います。発達障害なども含め障害という言い方は違うのではないかとも思えます。

・DIDという言葉を知った。幼少期のトラウマから発生する。自分の身を守るために、??きることを知り驚いた。1人で悩むのは抱え込んでしまうので、相談し、受け入れて向き合うことが大事だと学んだ。

・解離性同一性障害という言葉より、多重人格という言葉で聞くことがあったが、どんなかんじなのか知らなかったが、目にすることができ、今後そのような人に会った時には、一人一人とその人にあったかかわりで付き合っていきたいです。

今後またなかなか目にふれられることのない人達の映画をつくってみたいです。

私は障害をもった子の母ですが、まわりの人にたすけられながら子育て仕事もすることができているので、人生終わりじゃない、他の人と同じように輝ける...みたいな映画とか...。誰かを元気にできるような映画をお願いします。今日はありがとうございました。

・アイデンティティの分裂というマイナスな聞こえ方をするが、その人が生き抜くためにうみだしたシステムという、なんだかいい感じの気持ちでした。映画の中でも複数の人格がその子を守るために。自分たちの思う正義をもって行動していて、でも、みんなの方向性がでんでバラバラなので、その子自身はとても混乱してしまう。でも、それぞれの人格の、“その子を生かしたい”という想いを受け入れられた時に、和解し、複数の人格を含めた自分として歩き出していく姿に、とても感動した。

・沢山記入ができませんが、安全な環境こそがすべて（しょう害の有無かんけいなく）の子どもたち、人たちをすこやかに生活できるのだと、あらためて思いました。ありがとうございました。

・ドラマなどで扱われていて情報はありましたが、実際生の声を聞くことができ、初めての経験になりました。人間は種類は違えど、何かしら抱えて生きているのだなあ...と思いました。私は無力ではありますが、今後は微力ながら知識を持ち理解を深め、そして、平和な社会を祈りながら生きていきたいと思います。

今回は心を込めて講演と上映を開催していただき、本当に有難うございました。愛を込めて...。